

関 係 各 位

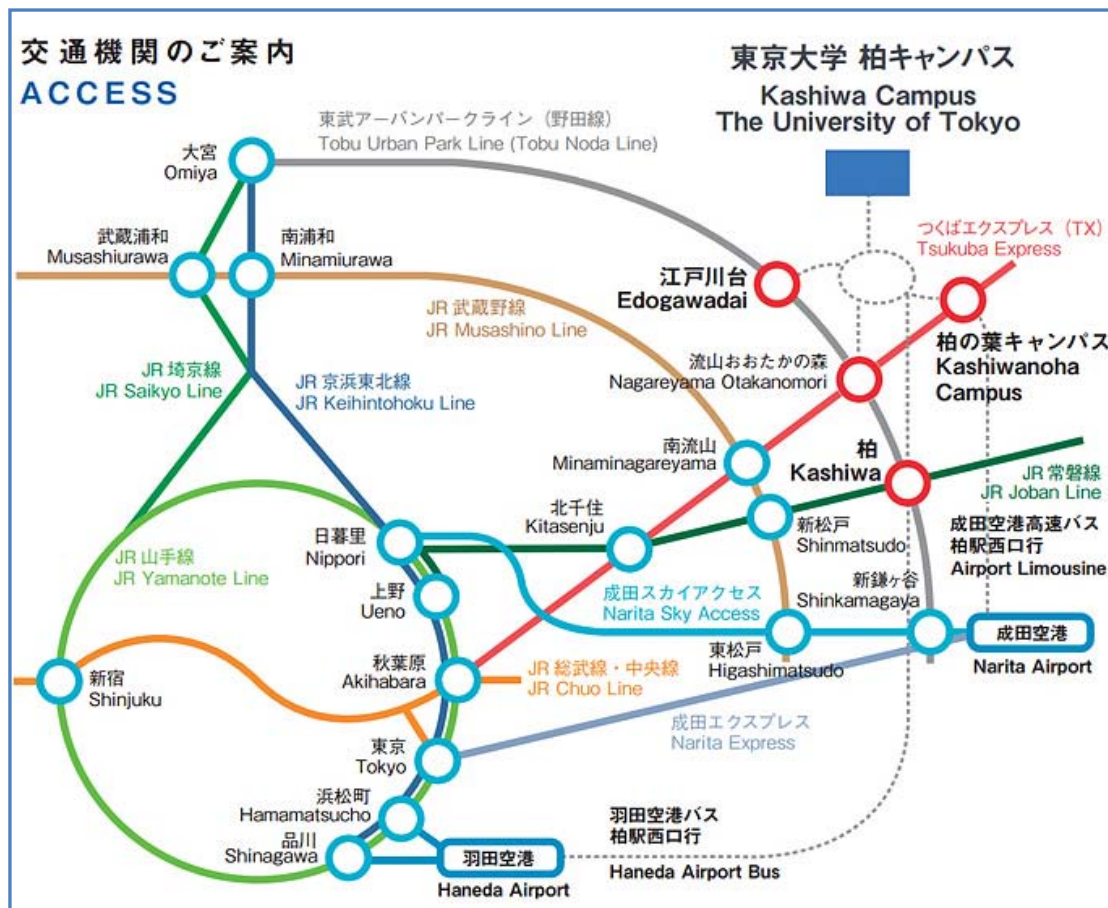
東京大学大気海洋研究所長

東京大学大気海洋研究所共同利用研究集会
「変化拡大するマイワシ資源」

標記のことについて、下記のとおり開催いたしますのでお知らせ致します。
つきましては、貴機関内関係者へ御周知頂きますようお願い致します。

記

- 日 時 平成 30 年 11 月 19 日 (月) 13 : 00 ~ 17 : 30
平成 30 年 11 月 20 日 (火) 10 : 00 ~ 15 : 00
- 場 所 東京大学大気海洋研究所 2F 講堂
〒277-8564 千葉県柏市柏の葉 5-1-5 TEL : 04-7136-6009
- 交 通 詳しい交通案内、地図は大気海洋研究所のホームページをご覧ください。
URL : <http://www.aori.u-tokyo.ac.jp/access/index.html>



東京大学大気海洋研究所共同利用研究集会

変化拡大するマイワシ資源

日 時：平成30年11月19日（月）13:00 ～ 17:00
11月20日（火）10:00 ～ 15:00

場 所：東京大学大気海洋研究所2F 講堂

〒277-8564 千葉県柏市柏の葉5-1-5 TEL 04-7136-6009

コンビーナー：渡邊千夏子（中央水研、falconer@affrc.go.jp、TEL 045-788-7364）、

高橋素光（西海水研）、杉崎宏哉（水研機構本部）、伊藤進一（大気海洋研）

大気海洋研対応者：伊藤進一（大気海洋研 環境動態分野）：goito@aori.u-tokyo.ac.jp

プログラム

11月19日（月）

13:00 - 13:10 趣旨説明 渡邊千夏子（水研機構）

資源と環境の変化 — 環境変動はマイワシ資源増加に寄与したのか？

座長 上村泰洋・杉崎宏哉

13:10 - 13:45 太平洋のマイワシ資源～過程・現状・今後 古市 生（中央水研）

13:45 - 14:20 近年のマイワシ資源増加期の道東海域における来遊の特徴

板谷和彦（道中央水試）・坂口健司（釧路水試）

14:20 - 14:55 南九州におけるマイワシ資源について

堀江ひかり（宮崎水試）

休憩（14:55-15:10）

15:10 - 15:45 近年の対馬暖流域における資源と漁業のありさま

安田十也（西海区水研）

15:45 - 16:20 1970年代対馬暖流域における分布の拡大

向草世香（西海区水研）

16:20 - 16:55 日本海の春季ブルームは対馬暖流系のマイワシにとって重要か？

児玉武稔（日本海区水研）

16:55 - 17:20 マイワシ減少期・増加期の加入量変動と海洋環境

西川 悠（海洋研究開発機構）

11月20日（火）

生態変化 — 増加期の生態学的変化は予期されたものか？

座長 米田道夫

10:00 - 10:35 過去データからみたマイワシ対馬暖流系群の繁殖特性の変化

南條暢聡(氷見栽培漁業セ)・安田十也・高橋素光(西海区水研)

10:35 - 11:05 太平洋海域における再生産,その拡大と変化

渡邊千夏子・須原三加(中央水研)

11:05 - 11:40 太平洋海域における仔稚魚の孵化日と成長の変化

上村泰洋・新野洋平・須原三加(中央水研)

休憩(11:40 - 13:00)

新しい技術が描き出すマイワシの姿

座長 伊藤進一

13:00 - 13:35 マイワシの母性年齢に伴う繁殖・初期生態特性

米田道夫(瀬戸内水研)

13:35 - 14:10 炭素 14 を用いたマイワシ当歳魚の回遊履歴の復元

宮入陽介(大気海洋研)

14:10 - 14:45 耳石の酸素安定同位体比が、マイワシの回遊、成長について語る

坂本達也(大気海洋研)

総合討論 今後の研究展開—増加期を迎えて我々は何を学ぶことができるのか?

14:45 - 15:30 司会 高橋素光

*本シンポジウムの聴講にあたり、障害等のため、設備、情報保障等の配慮が必要な場合は、あらかじめ申し出ください。

連絡先：伊藤進一(東京大学大気海洋研究所)

TEL:04-7136-6240 FAX 04-7136-6247 Email:goito@aori.u-tokyo.ac.jp

*11月19日夕方、懇親会を予定しております。参加人数の把握のため、参加を希望される方は以下までご連絡ください。

連絡先：渡邊千夏子(中央水研)

TEL&FAX:045-788-7634 Email:falconer@affrc.go.jp

変化拡大するマイワシ資源

2018年11月19日(月)13時
～ 20日(火)15時

東京大学柏キャンパス
大気海洋研究所 講堂
参加自由

*19日講演終了後懇親会(有料)を予定
しています。参加を希望される方は下記の
問い合わせ先までご連絡ください。

1980年代末の資源量の激減から
1990年代の低迷を経て、マイワシ資
源は再び増加局面に入った。数十年
規模で変動する資源の増加期に当
たる今、最新の研究成果を総括し、
マイワシ資源に生じている変化を捉え、
今後の研究展開を議論する。

コンペーナー:

渡邊千夏子(中央水研)・高橋素光(西水研)
杉崎宏哉(水産機構)・伊藤進一(大海研)

問い合わせ先: 渡邊千夏子 falconer@affrc.go.jp TEL 045-788-7634

資源と環境

－ 環境は資源増加に寄与したか

古市 生 (中央水研)
安田十也 (西水研)
向 草世香 (西水研)
板谷和彦 (道総研中央)
堀江ひかり (宮崎水試)
見玉武稔 (日水研)
西川 悠 (JAMSTEC)

生態変化

－ 変化は予期されたものか

南篠 暢聡 (氷見栽漁セ)
渡邊千夏子 (中央水研)
上村 泰洋 (中央水研)

－ 新技術は何を描き出すのか

米田 道夫 (瀬戸内水研)
宮入 陽介 (大海研)
坂本 達也 (大海研)

総合討論

－ 我々は何を学ぶことができるか

司会 高橋素光 (西水研)

SARDINE

Surging population of Japanese sardine in the western North Pacific